

平成25年度営繕工事の概要

第1節 営繕業務

1 営繕業務

営繕業務には、知事部局及び教育庁の依頼に基づき実施する県有建築物の新築・増改築と、県が保有する477施設、延べ床面積約2,075千㎡のうち、333施設、延べ床面積約1,583千㎡について行う維持修繕等があります。(数値は、いずれも平成24年度末現在。)

これらの工事に関する調査・設計・工事監督等を通じ、営繕課と各地域振興局建設部が連携をとりながら、安全で安心して利用できる県民共有の財産の整備を図っております。

2 重点的な取り組み

営繕工事の技術管理業務を通じて、県民共有の財産である県有建築物が、多くの県民に親しまれ活用されるよう、次のような基本事項を踏まえた取り組みを実践しております。

- ① 県民に親しまれる建築物
 - ・ 街並みや周辺環境と調和した建築計画。
- ② 利用者にやさしい建築物
 - ・ 地域の気候風土を踏まえ、敷地と建築物の各機能に応じた適切なバリアフリーを推進。
- ③ 環境にやさしい建築物
 - ・ 県有建築物の環境負荷の低減化。
 - ・ 自然エネルギー(地中熱、雪冷房、太陽熱等)、雨水、地下水の利用。再生資材の活用。
- ④ 県産材を活用した建築物
 - ・ 秋田杉に代表される県産木材を活用し、公共建築物の木造化、木質化を推進。
- ⑤ 安全で安心して使える建築物
 - ・ 構造上、防災上の安全性の他に、使用材料の安全性の確認。
- ⑥ 広報・広聴の充実
 - ・ 美の国あきたネットを活用した発信情報の充実。
- ⑦ 公共建築物の環境マネジメント
 - ・ 環境負荷低減計算ソフトを利用した修繕計画の作成。

県産材活用の事例

能代松陽高校の教室棟は2階部分を木造としました。また、教室棟以外の非木造の棟も含めて、内装の木質化に積極的に取り組みました。



能代松陽高等学校 教室棟 外観



生徒昇降口・資料展示スペース 内観

第2節 営繕関係事業

1 平成25年度営繕工事の概要

平成25年度に営繕課が知事部局及び教育庁から事務の依頼を受けて実施する予定の受託事業は、延べ125件、年度総工事費約5,509百万円の見込みです。

これは、前年度(事務依頼ベース)に比べて件数で約98%、年度工事費で約72%になります。

機関名	平成25年度当初		平成24年度当初		対前年度比較	
	件数	工事費	件数	工事費	件数	工事費
	(件)	(千円)	(件)	(千円)	%	%
知事部局	81	985,694	73	2,027,070	111%	49%
教育庁	44	4,524,145	55	5,618,395	80%	81%
総計	125	5,509,839	128	7,645,465	98%	72%

※ 修繕工事等を含む

(平成25年4月現在)

2 平成25年度主要工事の概要

平成25年度に工事継続中又は工事発注予定の主な事業は次のとおりです。(平成25年4月現在)

<p>能代松陽高校建設事業</p> <p>建設地：能代市</p> <p>構造規模：RC造4/0, RC+木造2/0他 約14,900㎡</p> <p>工期：H23～H27</p>	<p>大曲工業高校実習棟・体育館改築事業</p> <p>建設地：大仙市</p> <p>構造規模：RC造3/0他、約7,800㎡</p> <p>工期：H24～H26</p>
<p>秋田中央高校改築事業</p> <p>建設地：秋田市</p> <p>構造規模：RC造3/0他 約14,200㎡</p> <p>工期：H25～H27</p>	<p>秋田工業高校改築事業</p> <p>建設地：秋田市</p> <p>構造規模：RC造4/0他 約25,000㎡(うち改修10,700㎡)</p> <p>工期：H25～H28</p>
<p>角館地区統合高校(仮称)等整備事業</p> <p>建設地：仙北市</p> <p>構造規模：S造4/0, W造2/0他 約17,400㎡(うち改修13,200㎡)</p> <p>工期：H25～H28</p>	<p>※ 平成25年度に設計中の主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大館地区統合高校(仮称)整備事業 ・大曲農業高校整備事業

3 事業紹介

【完成施設】 男鹿水族館 ヒレアシ's館 (アシカ・アザラシ棟)

[建築場所] 男鹿市戸賀塩浜字壺ヶ沢

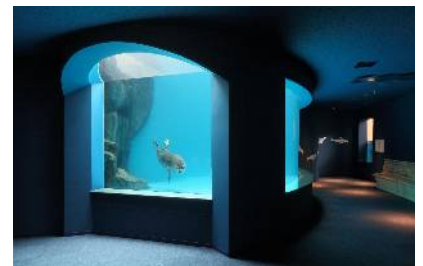
[竣工] 平成24年12月

[計画概要] 鉄筋コンクリート造 2階建
延べ床面積 約550㎡(増築部分)

[施設の特徴]

既設の男鹿水族館GAOの魅力アップを図るために、生物のふれあいを主眼としたアシカ・アザラシ棟の増築や、既存本館のハタハタコーナーの再整備など、より充実した展示環境の創造を目指しました。

観覧スタンドを併設したアシカステージには、膜材の屋根を架け、全天候型の快適で開放的な空間としました。また、アシカ水槽やアザラシ水槽は、周回しながら様々な角度から観察できるような動線計画としたほか、生物とのふれあいが可能なスペースを設けました。



1階アザラシ水槽観覧スペース



2階アシカ観覧スタンド全景



男鹿水族館 外観(手前が増築部分)

【事業継続中施設】

(1) 秋田中央高校改築事業

- [建築場所] 秋田市土崎港南三丁目2-78
(現学校敷地内)
- [竣工予定] 平成27年度
- [計画概要] 鉄筋コンクリート造3階建
鉄筋コンクリート+鉄骨造 2階建ほか
延べ床面積計 約 14,200㎡



[施設の特徴]

本事業では、現敷地に旧盲学校の敷地を加えて、「文武両道」が実践できる魅力あふれる学校、「地域と校舎がすべて教材となり、学びながら実践勉強できる学校」、「地球温暖化防止の技術を取り入れた親しみのある学校」、「地域の防災避難施設の機能を持った学校」を基本コンセプトに計画して、全面的な建替を行います。

建替にあたっては、旧盲学校の敷地を多目的グラウンドとして整備後、現在の学校施設を使用しながら、県産材を活用した管理教室棟、体育館棟、セミナーハウスなどを逐次建築していきます。管理教室棟は、生徒動線を考慮して口の字型の平面とし、コンパクトにまとめています。また、周辺道路の混雑を緩和して、安全な生徒動線を確保することを目的に、校地内に引き込み道路の整備も行います。

(2) 秋田工業高校改築事業

- [建築場所] 秋田市保戸野金砂町3-1
(現学校敷地内)
- [竣工予定] 平成28年度
- [計画概要] 鉄筋コンクリート造 4階建
鉄筋コンクリート造+鉄骨造4階建 ほか
延べ床面積計 約 25,000㎡
(うち、改修部分 10,700㎡)



[施設の特徴]

本事業では、次世代のものづくりの基盤を支える人材育成の場として「学校の伝統を引き継ぐ学校」、「地域との関わり学習に活かす、開かれた学校」「弾力的に展開できる、柔軟な学習環境」を基本コンセプトに計画して、実習棟を除き全面的な建替を行います。

建替にあたっては、正門から現校舎まで直線的に伸びる軸線を残して、その延長線上を中心に、県産材を活用した体育館棟、武道場、校舎棟、セミナーハウスなどを逐次建築していきます。体育館棟は、大空間を有するアリーナとし、体育競技に限らず多目的に利用できるようにしています。また、大規模な改修となる実習棟は、建物自体が学習教材として活用できるように見える化をし、ものづくり教育の充実を図ります。